

**半能 田村(たむら)**

春の季節です。東国の僧が都見物で清水寺にやって来ます。境内の桜の盛りに感心していますと、一人の童子が現れ、木陰を掃き清めます。僧が寺の来歴を聞きますと、童子は坂上田村麿と賢心・行叡居士の縁起を語り、行叡居士とは観音菩薩の生まれ変わりであると話します。そして、辺りの名所を尋ね、共に花見をしています。僧は童子の常人ならぬ様子に、名を問いますと、童子は、私の帰る先を御覧なさいと言ひ残して、田村堂へと入っていきます。(前半)

僧は清水寺門前の者に田村麿の供養を勧められ、夜もすがら桜の木陰で経を読んでいます。武將姿の田村麿が現れ、僧の読誦に感謝します。そして、自分が東夷を平らげ、悪魔を鎮め、天下泰平の忠勳をしたのも、清水寺の仏力だと述べ、また、勅命を受けて、鈴鹿の賊を討伐するべく軍兵を進めた時、千手観音が現れ、その助勢で敵を倒すことができた、観音のありがたさを語ります。(後半)

**狂言 清水(しみず)**

近年世間では茶会が流行っています。主人も流行に乗って茶会を開くにあたり、使用する水(「湧き水」)を汲んでくるよう召使(「太郎冠者」)に命じます。召使は日頃からあれやこれやと用事を遣わされていて気が進まないのに、清水へ行くと鬼に遭遇して襲われたと嘘をつき、主人から預かった秘蔵の水桶も投げ捨ててきたと言ひ訳をします。主人が水桶惜しさに自ら様子を見に行くと云い出すので、嘘がばれては大変と慌てた召使は先回りをして、とある作戦を企てますが…。

時に人は日々の仕事から逃げ出したくもなるものです。しかしながら召使は調子に乗って余計な事をしたばかりに、「嘘に嘘を重ねると…」といった教訓の盛り込まれたストーリー展開で、やがて言ひ訳の破綻を招きます。可笑しみを交えての失敗談として、かつては小学校の国語教科書にも採用されており、併せて道

**能 紅葉狩(もみじがり)**

秋の一日、信濃の国戸隠山に、高貴な上臈が侍女を従えて、紅葉狩りの酒宴をおこなっています。一方、鹿狩にきた平維茂行は、そのことを知り、酒宴を妨げないように、馬から降り、杵を脱いで、姿が見えないよう心遣いをします。すると、女は維茂行を酒宴に誘い、断りかねた維茂は盃を重ね、美女の舞に見とれます。いつしか酔いがまわり、維茂は寝てしまいます。それを見届けた女たちは、目を覚ますなよ、と言ひおいて山に消えます。

維茂の夢のうちに、男山八幡宮の末社の神が現れ、神剣を授け、鬼神を退治するよう神勅を伝えます。維茂が目覚めると、山中は雷がとどろいて騒然となります。先程までの女が化生(けししょう)の姿を現し、鬼女となって襲ってきます。維茂は、騒ぐことなく、太刀を抜いて立ち向かい、激しい戦いの末、鬼神を斬り伏せます。

出典 能「田村」([http://hisadakan-oh.com/story/069\\_tamura.html](http://hisadakan-oh.com/story/069_tamura.html))  
 能「紅葉狩」([http://hisadakan-oh.com/story/074\\_momijigari.html](http://hisadakan-oh.com/story/074_momijigari.html))  
 狂言「清水」([https://kyogen.co.jp/outline/post\\_98/](https://kyogen.co.jp/outline/post_98/))

| 番組   |                         | キャスト  |  |
|--|-------------------------|---|--|
| (午後)<br>2:00   | 観世流・半能 「田村」<br>坂上田村麿 旅僧 | 伊藤 裕貴<br>飯富 雅介<br>大野 誠<br>船戸 昭弘<br>河村 総一郎<br>祖父江 修一<br>今沢 美和<br>下川 宜長<br>寺澤 幸祐<br>山中 雅志<br>松山 幸親<br>本田 勲<br>吉沢 友彦   |  |
| 2:25   | 和泉流・狂言 「清水」<br>太郎冠者 主人  | 井上松次郎<br>大橋 則彦<br>佐藤 友彦   |  |
| — 休憩 —   |                         |   |  |
| 3:15   | 観世流・能 「紅葉狩」<br>女 鬼神 侍女  | 久田三津子<br>吉沢 旭<br>瀬戸 洋子<br>星野 路子<br>村井 邦子<br>橋本 幸<br>橋元 正樹<br>藤波 徹義<br>松田 高学<br>竹市 昭弘<br>船戸 洋輝<br>河村 眞之介<br>加藤 宜長<br>祖父江 修一<br>久田 勘祐<br>寺澤 幸祐<br>山中 雅志<br>松山 幸親<br>本田 勲<br>伊藤 裕貴 |  |
| ワキ<br>ワキツル<br>アイ<br>アイ<br>小鼓<br>大鼓<br>太鼓<br>後見<br>地謡 |                         | 平維茂<br>従者<br>供女<br>武内之神   |  |
| 附祝言<br>4:20 終演                                       |                         |   |  |

※出演者は一部変更となる場合があります。ご了承ください。



**来場は、事前申込み制です**  
 定員(450人)を超えた場合は抽選を行います

**8月2日(月)**  
 から申込み開始  
 ※1組2名様まで

ご希望の方は、**8月31日(火)までに**、はがきまたは申込用紙(下記)に代表者の住所、氏名、電話番号、希望枚数を記入し、郵送(消印有効)または持参し、直接文化・スポーツ課、もしくは市HP申込フォームからお申込みください。

お申込フォーム

小牧山新能申込用紙 (文化・スポーツ課)

|        |            |           |
|--------|------------|-----------|
| 氏名     | 電話番号 ( ) - | 希望枚数 枚    |
| 住所 〒 - |            | (1組2名様まで) |

※抽選結果は入場整理券の発送をもって代えさせていただきます。(当選された方のみ) ※個人情報の目的外利用を行うことは一切ありません。